

# プロフィール

ソフトバンク・インベストメント(株)は、グループ企業の再編や証券会社の買収を通じて、これまでのベンチャーキャピタルを中心とした事業から、新たに「アセットマネジメント」「ブローカレッジ & インベストメントバンキング」「ファイナンシャル・サービス」の3つのコアビジネスを中心とした総合金融グループへと進化いたしました。また、特色ある証券会社の買収を通じて、大手証券会社とも互角に競争することが可能となる体制を構築しつつあります。

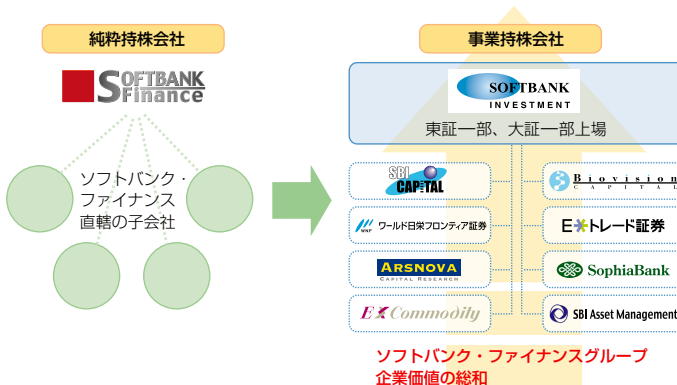
沿革	
1999年 7月	ベンチャーズ・インキュベーション事業を行うことを目的として、ソフトバンク・インベストメント(株)を東京都千代田区に設立
11月	ソフトベンチャーキャピタル(株)、ソフトバンクベンチャーズ(株)、ソフトバンク・コンテンツ・パートナーズ(株)及びソフトトレンドキャピタル(株)を完全子会社とする株式交換を実施
2000年 1月	100%子会社であるソフトベンチャーキャピタル(株)を吸収合併
3月~7月	当社を業務執行組合員とする投資事業組合(民法上の組合)であるソフトバンク・インターネットテクノロジー・ファンド1号~3号(当初出資金1,505億円)を設立
6月	産業インキュベーターの役割を補強すべく(株)ソフィアバンクを設立
12月	ナスダック・ジャパン市場(現大証ヘラクレス市場)に上場
2001年 4月	投資顧問業への事業展開を図るため、ソフトバンク・アセット・マネジメント(株)株式を取得 LBOファンドの運用・管理を目的としたエスピーアイ・キャピタル(株)を設立
5月	エスピーアイ・キャピタル(株)を業務執行組合員とする投資事業組合(民法上の組合)であるSBI・LBO・ファンド1号(当初出資金50億円)を設立
6月	資産運用業務の強化を図るため、あおぞらアセットマネジメント(株)株式を取得
2002年 2月	東京証券取引所市場第一部に上場 エスピーアイ・キャピタル(株)を運用者とする企業再生ファンド一号投資事業有限責任組合を設立
5月	資産運用ニーズの多様化・高度化にスピーディーな対応を図るため、あおぞらアセットマネジメント(株)とソフトバンク・アセット・マネジメント(株)が合併しエスピーアイ・アセット・マネジメント(株)となる
11月	大阪証券取引所市場第一部に上場
2003年 6月	イー・トレード(株)と合併
9月	当社を無限責任組合員とするSBI・リアル・インキュベーション1号投資事業有限責任組合を設立
10月	ワールド日栄証券(株)を買収し、子会社とする
12月	日商岩井証券(株)を買収し、子会社とする バイオビジョン・キャピタル(株)を業務執行組合員とするバイオビジョン・ライフサイエンス・ファンド1号を設立
2004年 2月	ファイナンス・オール(株)の株式を取得し、同社の傘下にあったグッドローン(株)等6社を新たに子会社とする ワールド日栄証券(株)とソフトバンク・フロンティア証券(株)が合併し、商号をワールド日栄フロンティア証券(株)とし、大証ヘラクレス市場に上場
3月	日商岩井証券(株)がフィデス証券(株)に商号変更

## グループ再編の方向性について

ソフトバンク・インベストメント(株)に事業持株会社としての性格を持たせつつ、純粋持株会社であり親会社であるソフトバンク・ファイナンス(株)直下の子会社を当社の傘下に集約化させる事により、連結業績の向上と企業価値の増大を図ってまいります。事業再編の過程では、グループ内企業に留まらず、多様な外部資源をも買収により傘下に取り込んでいき、更なる企業価値の拡大を加速させる所存であります。

### ソフトバンク・インベストメント (SBI) へのソフトバンク・ファイナンスグループ企業価値の集約化

ソフトバンク・ファイナンス直下の子会社をソフトバンク・インベストメントの傘下に集約



最終的に SBF グループ企業価値の SBI への集約化を図る